第2回 退院調整・地域連携打ち合わせ会 報告書

日時	平成29年10月1日(日) 9:30~12:30
場所	高松市医師会館 5階ホール
参加者	55名 【内訳】〇医師31人 〇歯科医師3人 〇薬剤師1人 〇保健師・助産師・看護師12人 〇ソーシャルワーカー4人 〇介護支援専門員1人 〇理学療法士1人 〇事務員1人 〇施設長1人 【参考】・医師申込者34人中 参加者29人(うち歯科医師2人)当日2人参加 ・医師以外10人(MSW3人、PSW1人、看護師5人、事務1人)
内容	◆総合司会:松本委員 1 セミナー テーマ:「在宅医療の実際 ~自宅・施設での看取りを考える」 ブレゼンター (1)『在宅医療と看取り』 医師:三宅委員(在宅医療・介護連携推進会議委員・在宅診療 敬二郎クリニック) 別紙1参照 (2)『介護老人福祉施設における看取りの手順』 施設長:古川委員(在宅医療・介護連携推進会議委員・エデンの丘ホーム) 看護師:野村 千景氏(エデンの丘ホーム) 別紙2参照 (3)『「も汚治療はしない。」という ご意見に沿った多職種連携での看取り』 訪問看護師:山西 育子氏(株式会社 なつめ 代表取締役) 別紙3参照 (4)質疑応答 ・家族への説明や薬物投与について ・死亡診断書の書き方 ・施設での看取り ・告知について などの質疑応答がなされた。 2 講演 テーマ:「高松市医師会在宅医療ネットワーク構想」 講師:高松市在宅医療・介護連携推進会議 委員長 吉澤 潔氏 高松市医師会 副会長 伊藤 輝ー 主な内容は、次のとおり。 〇吉澤委員長より、高松市医師会による在宅医療ネットワークの構想について説明がなされた。 ・高松市在宅医療・介護連携推進会議の運営とは。 ・在宅医療ネットワークへの参加に関するアンケート結果 ・高松市医師会の在宅医療ネットワークの概念 ・他県のネットワーク・体制等の紹介

- ・在宅医療支援センター(仮称)を中心とした医療と介護の連携とは。
- ○伊藤副会長より今後の活動について説明がなされた。
- ・医師は最前線でサポートの立場であり、3年前から在宅医療介護連携会議に取り組んでいる。
- ・高松市医師会のブロックでの機能を活かし、今後、医師のネットワークを広めていく。